

質疑応答の概要（南荻島出津）

【道路計画に関すること】

Q：具体的にどこが渋滞しているのか示してもらいたい。

A：首都圏渋滞ボトルネック対策協議会において、北越谷停車場線や足立越谷線が渋滞箇所として示されています。

※首都圏渋滞ボトルネック対策協議会

首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県を対象）の渋滞を解消し、円滑な交通を確保するため、関係機関相互の調整を図りつつ、渋滞ボトルネック箇所について効果的な対策の推進を図ることを目的とし、国、警察、県、市、高速道路会社で構成されている協議会。渋滞発生状況の把握・分析、主要な渋滞箇所の特定、対策検討などについて審議を行っている。

Q：神明橋の交差点に右折帯がないから混んでいるのであって、そのために2.5mの道路を作るなんて考えがおかしい。

A：埼玉県内は東西の道路があまり整備されていないということもあり、東西連絡の強化も今回浦和野田線を整備する目的の一つです。

Q：バイパスを作らないと渋滞が解消できないという理屈が分からない。

道路を作ったらこれがよくなるというものをもっとよく説明してほしい。

道路が2.5mあってどうして安全になるのか説明してほしい。

A：いただいたご意見について、今後整理してお話しさせていただきます。

Q：実現できなかったのは何が原因だったのか。

ルートを変えることでどの案だったら実現の可能性あるのか。

A：現在の都市計画では、元荒川の流れを阻害することになります。

また、橋梁案やトンネル案は周辺道路との接続ができないなど、浦和野田線の目的や機能の面から困難と考えています。

今回示させていただいた案が道路の構造、役割、機能の面などから実現が可能と考えております。

Q：2車線でなぜできないのか。2.5mを変えられないのか。

A：交通量2万4千台を想定しており、4車線、2.5mの幅員が必要です。

Q：越谷で1番住環境の良いところであり、そういう環境をなんで大事にしないのか。

河川敷はどうなるのか。いじらない方向で考えているのか。

A：堤防はそのままで、河川に隣接して道路を整備する計画です。

Q：今回示された案が不可能だと河川の上を通るわけだが、出津橋はどうなるのか。

A：(県・越谷県土整備事務所)

出津橋と浦和野田線は接続することを前提として考えており、検討を進めていきます。
(越谷市)

今後浦和野田線のルート・構造等が決まりましたらその計画に合うような形で出津橋を架け替える方向で考えています。

出津橋を架け替えるときには幅員をどうするのか、自動車を通すのか通さないかなど、地域の方々のご意見をお伺いしながら、利便性の高い形の中で、また周辺に極力影響がないような形のものを検討してまいります。

Q：この道路ができた場合、出津の方から横切るためにはどういう形を考えているのか。

道路を作る以上は責任を持ち、安全な横断方法を考えてもらいたい。

信号で渡らせることが基本的な概念なのか。

A：浦和野田線の横断方法については警察とも協議を進めていきますが、信号や横断歩道で渡ることを考えています。

Q：利便性を押し付けるのではなく人にいいものは何か、きちんと考えて提案して欲しい。

A：ご意見として承ります。

Q：出津の自然は壊れないのか。

浦和野田線は1日何台くらい見込んでいるのか。

A：堤防はそのまま、北越谷側に道路を整備する予定です。

浦和野田線の交通量は、1日2万4千台を想定しています。

Q：浦和野田線と越谷流山線の交差点整備も併せて考えているのか。

A：ルート検討している箇所を中心に進めていきますが、周辺道路との交差点等も併せて検討を進めていきます。

【周辺環境に関すること】

Q：河川敷や桜を絶対にいじらないでほしい。

A：元荒川の河川堤防や桜はそのまま道路を作るといふことで考えております。

Q：環境アセスメントも必ずやってほしい。

A：必要に応じて、環境アセスメントに準じた形で環境調査を行います。

Q：これからの協議では、水辺を守る会とか、自然を守る担当者も入れてほしい。

A：検討させていただきます。

【事業計画に関すること】

Q：皆さんが納得して道路が作られるのであれば良いと思っている。住民への説明、住民の納得、道路を作ったことによる効果の確認をどのようにして進めていくのか。

A：今年の5月からようやく地元の方に説明させていただいている状況です。道路整備が終わった後の効果についても、今後説明させていただきます。

Q：何年後の供用を想定されているのか。

A：案を決めるのに概ね2年、その後に都市計画変更手続きを行うことを目標に検討を進めていきたいと考えています。都市計画の変更には、概ね1年かかります。その後、事業着手することになりますが、具体的な事業期間については、現段階ではお示しすることができません。目安としましては都市計画変更後7年となりますが、遅れることもあります。

Q：最終的な図面はいつ頃できるのか。

A：現地測量を経て詳細図面を作成し、次回以降の説明会でお示ししたいと考えています。

【合意形成に関すること】

Q：北越谷地区での説明会では、どのような意見が出されたのか。

A：今後の進め方などに対する質問が主に出されており、それに対し、地元のご意見を聞きながら検討を進めていきたいと回答しています。

Q：地元の皆様との話し合いとあるが、いつ頃、どういう形で話し合いが進んでいくのか、どのように意見を整理していくのか、もう少し具体的にお話したい。

A：説明会の中でいろんなご意見をいただいております、お答えできるものを年内にお話をさせていただきたいと考えています。進め方等は、自治会長や地元の越谷市と相談させていただきます。

【周辺道路に関すること】

Q：出津橋の件だが、4号バイパスからの車の通過路になるということで、絶対に車を通さないというのが当時の意見だった。それは参考として頭に入れてほしい。

A：(越谷市)
いろいろなご意見を聞きながら、どういう位置付けのものにするのか考えていきます。

Q：出津橋は絶対に車を通しちゃ駄目。それから環境。できるだけ環境というのは自然を残さないと。

A：(越谷市)
安全性と利便性を兼ね備える形が皆さんが良いという話もあるので、しっかりとご意見をお伺いしながら、どういう形にするのか考えていきます。

Q：この道路が決まらない限りにおいては、文教大学の前を舗装して広くしてほしいと思ってもそれは不可能だということか。

A：(越谷市)

今後については、このルート案で都市計画を変更して事業が進むという方向性ができれば、利便性だけでなく安全性も踏まえた中で堤防上を広げる形を考えることが出来ます

Q：10年かかるということは、10年間は今のままじっとしていないといけないのか。

A：(越谷市)

都市計画の変更ができるまでは確定しません。
方向性が決まれば整理していくことが出来ます。

Q：全部決まらなくても暫定的にやれば良いのではないか。

A：(越谷市)

ご意見として承ります。